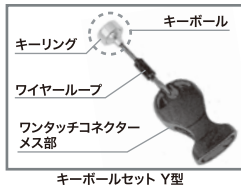


4-5 キーボール《Y型》

キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が連動してカートリッジボンベの封板に穴をあけ、エアバッグ(気室)が膨らみます。
キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



4-6 CO₂カートリッジボンベの取扱い

- カートリッジボンベ内には炭酸ガス(CO₂)が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。
- 一度作動(使用)したカートリッジボンベは使用できません。
(使用済カートリッジボンベは底部(封印板)に穴が開いています)
未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替え下さい。
- カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリッジボンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアバッグが膨らんでも数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。
カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

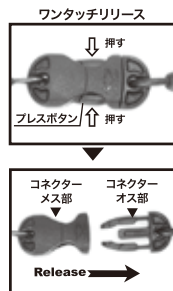
- 警告** ⚠ 1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。
(高温となる車中などでの保管はおやめください。)
- 警告** ⚠ 2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。
- 警告** ⚠ 3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。
- 警告** ⚠ 4. カートリッジボンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。
- 警告** ⚠ 5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいていない事を確認してから廃棄して下さい。
- 警告** ⚠ 6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。
- 警告** ⚠ 7. モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります。交換の際は必ずモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。
www.hit-air.com
- 注意** ⚠ 8. ヒットエア以外の用途で使用しないで下さい。
- 注意** ⚠ 9. ヒットエア製カートリッジボンベ以外は使用できません。
- 注意** ⚠ 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。
- 注意** ⚠ 11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。
- 注意** ⚠ 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際、根元までいっばいにねじ込んで下さい

13

5 使用方法

5-1 ワンタッチリリースについて

- ヒットエアには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、首部ヒットエアシステムのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。



注意 ⚠

1. 乗降時・走行時にワンタッチリリース(コネクター)などがバイクのタンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等による保護をお勧めします。
2. 接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。
その際に「カチッ」と挿入音が出るのを確認してください。
挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。
3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行くと、外せなくなる事や自然に外れる場合があります。
4. 降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分やマフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。

5-2 首部ヒットエアシステムと伸縮ワイヤーの接続

- 走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。(写真1)
- バイクから降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して、外してからバイクをお降り下さい。(写真2)



14